

『食べる？ 食品セシウム測定データ 745』 著者

ちだいセレクション

原発・選挙・日本社会…

2013年 僕を刺激してくれた12冊

話題の新刊『[食べる？ 食品セシウム測定データ 745](#)』（新評論刊）の著者が、
食品検査活動や参院選応援活動のなかで、
心打たれた&考えさせられた12冊を精選！

表紙	書名（著者名）／ジャンル／出版社／定価／ISBNコード
	<p>宇宙にいちばん近い人（浜口倫太郎）</p> <p>小説／ポプラ社／693円／978-4591134894</p> <p>処女作『アゲイン』でポプラ社小説大賞特別賞（水嶋ヒロが大賞をとった時の）を受賞した作家の第2作。ほのぼのの温かい気持ちになれるSFラブコメディ。ちなみに、著者は僕と同じく元放送作家。</p>
	<p>三宅洋平の言葉（TruNatt 編集部）</p> <p>ノンフィクション／ブルーロータスパブリッシング／1449円／978-4844375982</p> <p>『食べる？』の著者・ちだいは、今年の夏、三宅洋平さんの選挙に密着。“選挙フェス”を盛り上げるべくお手伝いをしていました。彼の“言葉”はやっぱりすごくて、17万人が支持した理由がわかります。</p>
	<p>三宅洋平～選挙フェスのつくりかた（岡田哲扶）</p> <p>ノンフィクション／8com Entertainment／1470円／978-4864671323</p> <p>三宅洋平さんの“選挙フェス”を運営していた通称ミドリマンこと岡田氏が、2013年夏、どのように選挙戦略を立て、17万票という破格の得票を集めたのかを記録した1冊。</p>
	<p>COPPELION（コッペリオン）第1巻（井上智徳）</p> <p>コミック／講談社／580円／978-4063755725</p> <p>東京湾で原発事故が起こったという設定のSFマンガ。福島第一原発事故の3年近く前（2008年）に発行されたものだが、現在とリンクする描写で話題を呼んでいる。現在20巻まで刊行、BS11でアニメ化もされている。</p>
	<p>風評破壊天使ラブキュリ（大和田秀樹）</p> <p>コミック／秋田書店／580円／978-4253230827</p> <p>風評被害撲滅を狙いながら、かえってツッコミ所が満載になってしまった1冊。「風評被害」という言説を主張する人たちの考えや心情を理解するには最良のテキスト。</p>



原発ホワイトアウト (若杉 冽)

小説／講談社／1680 円／978-4062186179

覆面のキャリア官僚が書いたということで大きな話題を呼んでいるベストセラー。リアルな設定・筋書きは迫真的。「未曾有の事故を起こしながら、なぜ原子力利権を諦めないのか」がよくわかる。僕が挙げなくても目一杯売れているとは思いますが、やはりはずせない1冊。



WONDER SPOT 世界の絶景・秘境 100 (成美堂出版編集部)

写真集／成美堂出版／1575 円／978-4415317373

見ているだけでワクワクしてしまう写真集。日本にいと、政治・社会の暗いニュースばかりで暗澹たる気持ちになるが、これを眺めていると「世界は広い」ということを再認識させられる。



青春 18 きっぷ パーフェクトガイド 2013-2014 (谷崎 竜)

ガイドブック／イカロス出版／1480 円／978-4863207431

世界を旅するのも楽しいけれど、お金がないなら国内を。今、自分が暮らしている街以外にも、素晴らしい街は必ずある。近場からちょっと遠出まで、リーズナブルで発見多い旅の格好の道案内。



ギヴァー 記憶を注ぐ者 (ロイス・ローリー／島津やよい訳)

海外小説／新評論／1575 円／978-4794808264

原作は 530 万部の売上を記録し、ハリウッドで映画化も決定した人気小説の日本語版。映画は 2014 年夏にアメリカで公開予定。これから再ブームが起きそうな予感。



ギャザリング・ブルー 青を蒐める者 (ロイス・ローリー／島津やよい訳)

海外小説／新評論／1575 円／978-4794809308

『ギヴァー』の続編で、作家の代表作とされる 4 部作の第 2 弾。現在、邦訳はこの 2 作目まで発売されている。世界中にファンを持つ注目のシリーズ。



99%のための経済学【教養編】 (佐野 誠)

ノンフィクション／新評論／1890 円／978-4794809209

新潟大学経済学部教授が、身近な経済学の観点から日本の現実を突き詰めた 1 冊。TPP に参加し、さらにアメリカ型の社会になろうとしている日本で、いま必要不可欠な本。



放射能汚染が未来世代に及ぼすもの (綿貫礼子 編)

ノンフィクション／新評論／1890 円／978-4794808943

サイエンライターの綿貫礼子さんが中心となり、四半世紀にわたりチェルノブイリの健康被害状況を取材調査した女性グループの渾身作。放射能汚染の長いスパンでの影響を考える上で必須の本。